

教育委員会 新人教育

『ケースレポート発表会』実施報告

- 日時 : 令和8年4月16日(木) 17時15分~17時45分  
目的 : 新人看護師が担当した患者への看護実践を振り返り、理論と実践を結び付け学びや気づきを整理する。科学的根拠に基づき看護の効果や意識を論理的にまとめることで知識・スキルの向上を目指す。  
対象 : 令和7年度入職 K 看護師



令和7年度4月に入職された新人看護師 K さんが、一年間の学び、経験を通じてケースレポートをまとめ、発表されました。

ケースレポートとは担当した患者への看護実践を振り返り、理論と実践を結びつけて分析する報告書を言います。特定の患者に対して行った看護実践や介入を詳細に記録し、その学びや気づきを整理する研究手法であり、単なる体験記ではなく科学的根拠に基づき、看護の効果や意義を論理的に述べていくものです。今回、Kさんは『患者の尊厳と安全を両立する看護介入～認知症患者における身体拘束解除への取り組み～』をテーマにレポートをまとめられました。

この事例の患者さんは認知症があり、点滴等の必要な処置が理解できず自己抜去をしたり、安静が保持できない状況にある方でした。治療を継続する必要があり、やむを得ない状況の中で安全に配慮し身体拘束を行っていましたが“何とか拘束を解除できないか！”と毎日のカンファレンスで検討を重ねられました。部署内の看護師間のディスカッション、時には他職種とも意見交換を行うなどチームで検討する意義を実感することができました。また代替手段で効果が得られていく中で最終的に拘束解除につながられた成功体験は、患者の安全と尊厳を両立させることの大切さと倫理的感性を高めるきっかけとなりました。そして何より患者さんご家族から「すごく嬉しい！ありがとうございます！」とのお言葉をいただいたことは、“看護の喜び”を感じることでできた機会であったと思います。

一年前には新人看護師として緊張した様子がみられていたスタッフが、学びを発表するまでに成長した姿を見ることができたことは、指導に携わった先輩看護師たちの喜びでもあります。

これからも看護部の一員として共に成長していけるように、一緒に頑張ってください！ケースレポート発表、お疲れ様でした！！

